

①オートタキシン基準範囲(カットオフ値)

	①線維化進展例 (mg /L) [※]	②肝硬変 (mg /L)
M	0.910	1.690
F	1.270	2.120

※ C型肝炎治療ガイドライン(第5.4版)の「肝線維化F2以上」に相当します。

①より高い検体は、肝線維化進展例と判定します。

②より高い検体は、肝硬変と判定します。

【判定上の留意事項】

妊婦では週数が進むに従い ATX 濃度が高値となることが確認されているため、妊婦検体の測定には適しません。

悪性リンパ腫患者、進行した悪性腫瘍患者では、ATX 濃度が高値となることが確認されています。また、重度の心不全患者でも高値を示す場合があります。

副腎皮質ステロイドを服用している人では ATX 濃度が低値を示す場合があります。

肝炎ウイルスを原因としない慢性肝疾患においては、肝線維化ステージと ATX 濃度の関係がウイルス性肝疾患と異なる場合があります。